

経済産業省生産動態統計と 工業統計の概念差について

平成30年10月22日

経済産業省 調査統計グループ

工業統計と生産動態統計の相違点の整理

- 工業統計と生産動態統計において金額の異なる要因としては、主に以下の4点が考えられる。

1. 品目分類の考え方（2、3ページ）
2. 部分品・取付具・付属品の扱い（4ページ）
3. 受入商品の扱い（5ページ）
4. 事業所の対象範囲（6ページ）

1. 品目分類の考え方

- 工業統計では、産業分類格付けのための定量的な基準として品目分類を調査している。
- 生産動態統計は、生産品目に着目し、類似する品目群ごとに調査している。

工業統計

- 工業統計調査は、主業格付け調査であり、製造業に格付けされた事業所が製造している全ての品目を調査している。
- 事業所の産業分類格付けを品目分類に基づく出荷額の多寡（定量的基準）によって行うため、工業統計における品目分類は、工業統計調査用産業分類（日本標準産業分類とほぼ同様）の産業細分類（4桁分類）に2桁を加えた（6桁分類）ものとなっている。

生産動態統計

- 経済産業省生産動態統計調査は、省令で定めた別表に掲げる鉱産物及び工業品の生産・出荷及び在庫の動向を明らかにするための調査であり、品目群ごとのアクティビティーで調査票（月報）を作成している。

(参考) 生産動態統計と工業統計におけるエアコンの品目分類

工業統計

「民生用電気機械器具製造業」に属する品目（≒家庭用）か、「一般産業用機械・装置製造業」に属する品目（≒業務用）かで分類している。

生産動態統計

需要（用途）にかかわらず、エンジン駆動／電気駆動、セパレート型／パッケージ型の別で分類している。さらに、セパレート型については冷房能力別に調査している。

(金属製品)

2432 19 その他のガス機器
又は
2432 29 その他の石油機器

(電気機械)

2932 13
エアコンディショナ

(はん用機械)

2535 13
エアコンディショナ

エアコンディショナ
(エンジン駆動)

		家庭用	業務用
エンジン駆動			
電気駆動	セパレート型		
	パッケージ型		

エアコンディショナ
(電気駆動、セパレート型)

エアコンディショナ
(電気駆動、パッケージ型)

2. 部分品・取付具・付属品の扱い

- 工業統計では、部分品・付属品等も調査の対象となる。
- 生産動態統計では、完成品のみを調査対象としているので、部分品・取付具・付属品は含まれていない。

工業統計

- 静態統計であるため、調査対象事業所における全ての製造品が対象となり、完成した製品以外に部分品・取付具・付属品等が含まれる。

生産動態統計

- 動態統計であるため、省令で定めた別表に掲げる商品（完成品）に限って詳細に調査している。（部分品・取付具・付属品は、別品目への代替生産が容易で、安定的な動態調査が困難）



- ◎ 工業統計では、部分品・取付具・付属品が含まれている分、把握する金額が大きくなる。

3. 受入商品の扱い

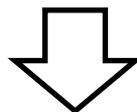
- 工業統計では、自工場で製造した製品の出荷額を計上している。
- 生産動態統計では、自工場以外から受け入れた分も加えて出荷額を計上している。

工業統計

- 事業所に着目した統計であり、品目別の製造品出荷額には、仕入れて又は受け入れてそのまま販売する転売品（卸売・小売収入）は含まれず、事業所全体のその他の収入額で把握している。

生産動態統計

- 品目に着目した統計であり、生産は自工場分のみだが、出荷は、自工場での生産に加え、他の事業所（国内外）から受け入れた製品も加えて計上して、供給額を把握している。



- ◎ 生産動態統計では、自工場以外からの受入が含まれる分、出荷額が大きくなる。

4. 事業所の対象範囲

- 工業統計は、製造業に格付けされる事業所が悉皆で対象になる。
- 生産動態統計は、特定の品目を生産する、従業者規模が一定規模以上の事業所に限定している。

工業統計

- 工業統計調査（基準年は、「経済センサス-活動調査」）は、製造業に格付けされた事業所を悉皆で調査している全数調査である（経済センサス実施年以外の中間年は、従業者数4人以上の事業所が対象）。

生産動態統計

- 生産動態統計調査は、製造業以外の事業所でも、指定した品目を生産していれば対象になる（アクティビティ調査）ものの、調査票（月報）ごとに省令で定めた別表に掲げる一定規模以上の従業者数を有する事業所を対象とする裾切り調査である。